

公立保育園耐震診断結果 一覧

| No. | 園名 | 建築年度 | 構造 | 階数 | 面積 (㎡) | 耐震診断結果 (最低Is値) | 対応状況 |
|-----|----------|------|-----------|----|-----------|-------------------|---------------------------------|
| 1 | 神明町保育園 | S52 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 751.41 | 0.731 | 耐震診断の結果、耐震性が確保されている。 |
| 2 | 新宿町保育園 | S49 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 763.16 | 0.633 | |
| 3 | 霞ヶ関第二保育園 | S48 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 590.00 | 0.476 | 平成25年度補強工事を実施、Is値0.6以上が確保されている。 |
| 4 | 名細第二保育園 | S50 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 614.73 | 0.433 | 平成23年度補強工事を実施、Is値0.6以上が確保されている。 |
| 5 | 高階第二保育園 | S51 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 761.11 | 0.452 | 平成24年度補強工事を実施、Is値0.6以上が確保されている。 |
| 6 | 高階第三保育園 | S56 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 614.87 | 0.651 | 耐震診断の結果、耐震性が確保されている。 |
| 7 | 南古谷第二保育園 | S54 | 鉄筋コンクリート造 | 2 | 829.56 | 0.843 | |

◎耐震診断とは

地震の揺れによって住宅・建築物が受ける被害がどの程度なのかを調べ、地震に対する安全性を評価することです。住宅・建築物の形状や骨組（構造躯体）の粘り強さ、老朽化の程度、ひび割れや変形等による損傷の影響等を総合的に考慮して判断されます。

◎耐震診断の対象園について

建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、昭和56年6月に適用された「新耐震設計基準」以前に設計・建築された建築物で、2階建てかつ延べ床面積500㎡以上の保育園を対象としており、本市では7園が対象となります。

◎耐震診断結果（Is値）について

Is値とは耐震診断の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される構造耐震指標で、その棟の最小値を表記しています。なお、国の基準ではIs値の目安を次のように定めており、本市ではIs値0.6以上を目標に耐震化を進めます。

【参考】国基準

| | |
|---------------|-----------------------|
| Is値0.3未満 | 大地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い |
| Is値0.3以上0.6未満 | 大地震に対して倒壊又は崩壊する危険性がある |
| Is値0.6以上 | 大地震に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い |